

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2002-220391(P2002-220391A)

【公開日】平成14年8月9日(2002.8.9)

【出願番号】特願2001-357400(P2001-357400)

【国際特許分類第7版】

C 07 D 491/22

A 61 K 31/475

A 61 P 11/14

A 61 P 25/28

A 61 P 29/00

A 61 P 37/06

A 61 P 43/00

【F I】

C 07 D 491/22

A 61 K 31/475

A 61 P 11/14

A 61 P 25/28

A 61 P 29/00

A 61 P 37/06

A 61 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月12日(2004.10.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

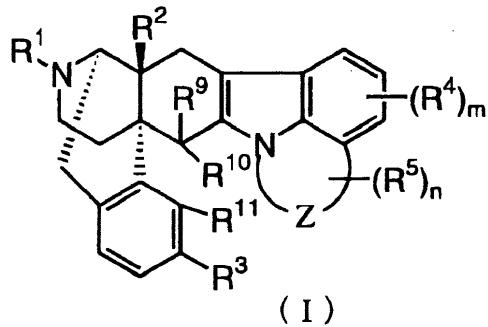
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一般式(I)

【化1】



[式中 R<sup>1</sup> は水素、炭素数1から5のアルキル、炭素数4から7のシクロアルキルアルキル、炭素数5から7のシクロアルケニルアルキル、炭素数6から12のアリール、炭素数7から13のアラルキル、炭素数3から7のアルケニル、フラン-2-イル-アルキル(

ただしアルキル部の炭素数は 1 から 5 である)、またはチオフェン - 2 - イル - アルキル(ただしアルキル部の炭素数は 1 から 5 である)を表し、

$R^2$  は水素、ヒドロキシ、炭素数 1 から 5 のアルコキシ、または炭素数 1 から 5 の脂肪族アシリルオキシを表し、

$R^3$  は水素、ヒドロキシ、炭素数 2 から 5 のアルコキシ、炭素数 1 から 5 の脂肪族アシリルオキシ、または炭素数 7 から 13 のアラルキロキシを表し、

-  $Z$  - は炭素数 2 から 5 の炭素原子からなる架橋を表し、

$m$  は 0 から 3 の整数を表し、

$n$  は 0 から 10 の整数を表し、

$m$  個の  $R^4$ 、 $n$  個の  $R^5$  はそれぞれ別個に、フッ素、塩素、臭素、ヨウ素、ニトロ、炭素数 1 から 5 のアルキル、ヒドロキシ、炭素数 1 から 5 のアルコキシ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ、フェニル、イソチオシアナト、 $SR^6$ 、 $SOR^6$ 、 $SO_2R^6$ 、 $(CH_2)_pOR^6$ 、 $(CH_2)_pCO_2R^6$ 、 $SO_2NR^7R^8$ 、 $CONR^7R^8$ 、 $(CH_2)_pNR^7R^8$ 、または $(CH_2)_pN(R^7)COR^8$  (ここで、 $p$  は 0 から 5 の整数を表し、 $R^6$  は水素、または炭素数 1 から 5 のアルキルを表し、 $R^7$ 、 $R^8$  はそれぞれ別個に水素、炭素数 1 から 5 のアルキル、または炭素数 4 から 7 のシクロアルキルアルキルを表す) を表すか、 $n$  個の  $R^5$  のうち、同一の炭素原子に結合した 2 個の  $R^5$  が一つの酸素原子となってオキソ基を形成するか、または  $m$  個の  $R^4$ 、 $n$  個の  $R^5$  のうち、2 つの隣接する  $R^4$ 、または 2 つの隣接する  $R^5$ 、または  $R^4$ 、 $R^5$  が結合して、ベンゼン縮合環、ピリジン縮合環、シクロペンタン縮合環、シクロヘキサン縮合環、シクロヘプタン縮合環を形成し (ただし、 $m$  個の  $R^4$ 、 $n$  個の  $R^5$  のうち少なくとも一つはヒドロキシであるか、または同一の炭素原子に結合した 2 個の  $R^5$  が一つの酸素原子となってオキソ基を形成しなければならない)、

$R^9$  は水素、炭素数 1 から 5 のアルキル、炭素数 2 から 5 のアルケニル、炭素数 7 から 13 のアラルキル、炭素数 1 から 3 のヒドロキシリアルキル、 $(CH_2)_pOR^6$ 、 $(CH_2)_pCO_2R^6$  ( $p$ 、 $R^6$  は前記定義に同じ) を表し、

$R^{10}$ 、 $R^{11}$  は結合して -  $O$  - 、 -  $S$  - 、または -  $CH_2$  - を表すか、それぞれ別個に  $R^{10}$  は水素、 $R^{11}$  は水素、ヒドロキシ、炭素数 1 から 5 のアルコキシ、または炭素数 1 から 5 の脂肪族アシリルオキシを表す] で示されるインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

#### 【請求項 2】

一般式 (I) において、 $R^3$  が、水素、ヒドロキシ、またはアセトキシである請求項 1 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

#### 【請求項 3】

一般式 (I) において、 $R^1$  が炭素数 4 から 7 のシクロアルキルアルキル、炭素数 3 から 7 のアルケニルである請求項 1 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

#### 【請求項 4】

一般式 (I) において、 $R^1$  がシクロプロピルメチルである請求項 3 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

#### 【請求項 5】

一般式 (I) において、 $R^1$  が水素、炭素数 1 から 5 のアルキル、炭素数 7 から 13 のアラルキル、フラン - 2 - イル - アルキル (ただしアルキル部の炭素数は 1 から 5 である)、またはチオフェン - 2 - イル - アルキル (ただしアルキル部の炭素数は 1 から 5 である) である請求項 1 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

#### 【請求項 6】

一般式 (I) において、 $R^1$  が水素、メチル、フェネチル、フラン - 2 - イルエチル、チオフェン - 2 - イルエチルである請求項 5 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

#### 【請求項 7】

一般式(Ⅰ)において、同一の炭素原子に結合した2個のR<sup>5</sup>が一つの酸素原子となってオキソ基を形成する請求項1記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

【請求項8】

一般式(Ⅰ)において、m個のR<sup>4</sup>のうち少なくとも1個がヒドロキシである請求項1記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

【請求項9】

一般式(Ⅰ)において、n個のR<sup>5</sup>のうち少なくとも1個がヒドロキシである請求項1記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

【請求項10】

請求項1~9のいずれか1項に記載のインドール誘導体またはその薬理学的に許容される塩からなる医薬。